

# 何度でも学びたい量的研究に必要な基礎知識 (オンラインセミナー)

臨床現場での疑問（クリニカルクエスチョン）は、科学的に答えられる問題（リサーチクエスチョン）に翻訳し、量的なデータから答えを探索・検証する研究によって解決することが必要です。研究の理解・適切な実施のためには、リサーチクエスチョンに対し、量的データをどのような研究デザインによって得るか、得られた量的データに対してどのような統計手法を選択するかを統計学的観点から理解することが重要です。

本セミナーでは、研究デザインや統計学の基礎知識を学ぶことにより、受講される方々の研究の質が向上することを期待します。

内容	研究デザインや統計学の基礎知識等の学習
対象者	医療系・看護系大学等の大学院生や教員、看護師、保健師、栄養士、医師などの医療従事者などを中心に、関心のある方はどなたでも受講できます。
開催日時	2024年11月23日（土）10:00～16:30 2024年12月7日（土）10:00～16:30
開催方法	ビデオ会議ツールZoomを使用したライブ配信セミナー ※オンデマンド配信あり (各開催日の翌週水曜日から3週間と2025年2月3日～25日（予定）) <small>(医療職のための統計セミナー)</small>
受講料	1. セミナー+副読本（特典あり）23,500円（税込） 2. セミナー受講のみ（特典なし）22,000円（税込） ◆特典の副読本について 本セミナー講師陣が中心となり執筆した書籍『生物統計学の道標－研究デザインから論文報告までをより深く理解するための24講－』（2023年10月刊行、定価2,970円（税込））です。 セミナー後の追加学習にも役立つ内容になっていますので、ぜひご活用ください。 ◆ 上記1. 2. に共通して、講義スライド冊子をお送りします。
申込方法	一般財団法人厚生労働統計協会ホームページ「医療職のための統計セミナー」ページ ( <a href="https://www.hws-kyokai.or.jp/seminar/kango.html">https://www.hws-kyokai.or.jp/seminar/kango.html</a> ) の申込フォームからお申し込み下さい。お支払いにはクレジットカード支払い、または請求書支払いが利用できます。
申込締切	2024年10月30日（水）（定員300名程度に達し次第終了） ※詳細はホームページをご覧ください。



日時	プログラム・講師名
11月23日（土）	
10:00～11:30 講義①	●量的研究のリサーチクエスチョンと研究方法 米倉 佑貴（聖路加国際大学大学院 看護学研究科 准教授）
13:00～14:30 講義②	●研究デザイン 上村 夕香理（国立国際医療研究センター 臨床研究センター 生物統計研究室 室長）
15:00～16:30 講義③	●記述統計 川原 拓也（東京大学医学部附属病院 臨床研究推進センター 助教）
12月7日（土）	
10:00～12:00 講義④	●推測統計 上村 鋼平（東京大学大学院 情報学環 准教授）
13:00～14:30 講義⑤	●回帰分析 篠崎 智大（東京理科大学 工学部 情報工学科 准教授）
15:00～16:30 講義⑥	●検定 坂巻 顕太郎（順天堂大学 健康データサイエンス学部 准教授）

# プログラム

配信日	時間	講義科目
11/23(土)	10:00～11:30	<b>講義① 量的研究のリサーチクエストと研究方法</b> 講師：米倉 佑貴（聖路加国際大学大学院看護学研究科准教授） 量的研究から意義のある成果を得るためには良いデータを得ることが不可欠で、そのためには良い研究計画を立てることが重要です。データ解析はデータを集めたあとで見直すこともありますが、データ収集のほとんどはやり直せません。この講義では量的研究の進め方、計画の立て方を概観し、データを取ったあとで後悔しないためのポイントをみていきます。
	13:00～14:30	<b>講義② 研究デザイン</b> 講師：上村 夕香理（国立国際医療研究センター 臨床研究センター 生物統計研究室 室長） “知りたいこと（クリニカルクエスト）”をデータから評価するためには、研究開始前に研究の設計図を適切にたて、研究デザインを組むことが重要となります。この講義では、様々な研究デザインやそれぞれの利点・欠点、気を付けるべき落とし穴等について講義します。
	15:00～16:30	<b>講義③ 記述統計</b> 講師：川原 拓也（東京大学医学部附属病院臨床研究推進センター助教） 適切にデザインされた研究で収集されたデータは、記述統計・推測統計の道具により整理されることで臨床に還元されます。この講義では、記述統計に焦点をあて、それぞれのデータが分類される型ごとに、データの要約方法の基礎を学ぶことを目的とします。さらに、要約結果を提示するための図表を作成する際のポイントや具体例を紹介します。
12/7(土)	10:00～12:00 ※120分	<b>講義④ 推測統計</b> 講師：上村 鋼平（東京大学大学院情報学環准教授） データが何らかの傾向を示した際に、偶然そのような傾向が得られたのか、真の傾向は何なのか、を知りたいということがあります。推測統計を用いると、データ（結果）の不確実性を考慮した上で、「2群の間に差がある」などの結論を導くことが可能になります。この講義では、推測統計のしくみと使い方について、具体例によるイメージを持ちながら、基礎から学んでいきます。
	13:00～14:30	<b>講義⑤ 回帰分析</b> 講師：篠崎 智大（東京理科大学工学部情報工学科准教授） 回帰分析の知識を身に着けることで、読める論文や実施できる研究の幅が広がり、一歩踏み込んでデータに向き合うことができます。この講義では、「回帰」とは何か、回帰を「モデル」で表すとはどういうことか、からはじまり、最小限の数式から気を付けるべきポイントをなるべく正確に理解することを目的とします。
	15:00～16:30	<b>講義⑥ 検定</b> 講師：坂巻 顕太郎（順天堂大学健康データサイエンス学部准教授） 不適切な方法で計算された p 値から研究の結論を導くことに対する批判が高まっています。p 値は検定の結果として得られるものですが、なぜ検定が必要なのか、どのような検定方法を選択すべきなのか、検定結果を適切に解釈するとはどういうことなのか、を理解しなければ、適切に研究結果を解釈することはできません。この講義では、How toではなく、検定の目的と適用上の注意点を理解することを目的とします。

- 両日とも3講義ずつ、ライブ配信（開始10分前までにZoomセミナールームにお入り下さい。）
- 2日間(全6講義)の受講となります。1日(1講義)のみでの受講はできません。
- 講義後、音声やQ&A※1での質問が可能です（質問はライブ配信時のみ、講義内容に関するものに限りです）。
- ライブ配信を見逃した方、復習したい方は、オンデマンド配信も視聴できます。

オンデマンド配信期間	11/ 23 (土)講義①②③ 2024年11月27日(水)～2024年12月18日(水) ※2 12/ 7(土)講義④⑤⑥ 2024年12月11日(水)～2025年1月6日(月) ※2 講義①～⑥の再視聴 2025年2月3日(月)～2025年2月25日(火) ※2
------------	---

※1 ビデオ会議ツールZoomのQ&A機能です。

※2 各オンデマンド配信期間は3週間の掲載予定。動画の録画状態により、配信期間を変更させていただく場合があります。Zoomは、Zoom Video Communications, Inc.の米国およびその他の国における商標又は登録商標です。